

進路指導室から 第363号

はじめに

今日は、2月12日（土）です。3連休の中日ということもあり、校内は静かです。ただし、3年生の中には登校し、学習に取り組んでいる生徒もいます。

さて、最近、生徒たちと話を交わす際に話題になるのが、集中力の維持です。現在、生徒たちは、私立大学や国立大学の二次（個別試験）に向けて学習を進めています。受験教科・科目は、たいがいは3教科以下で、1教科に充てる時間は大学入学共通テストよりも確保できるのですが、学習が長時間にわたるとどうしても集中力が切れてしまうようです。

ところで、集中力を維持する時間管理の方法として「ポモドーロ法」があります。「ポモドーロ」とは、「トマト」のことで、この方法を発案したフランチェスコ・シリロが、学生時代に愛用していたトマト型のキッチンタイマーから名づけられました。「ポモドーロ法」とは、短めの作業と短い休憩を繰り返すことです。具体的には「25分の作業＋5分の休憩」を1ポモドーロとし、4ポモドーロ（2時間）ごと30分間の休憩を取り、これを繰り返します。また、その際には、作業時間を短く区切るだけでなく、1ポモドーロ内で決められたタスクを終わらせられるよう努力することが大切で、それが集中力に結びつくそうです。私自身も試してみたいと思っています。

「令和4年度大学入学者選抜実施要項に関するQ&Aの更新」について

文部科学省は、2月8日（火）に、「令和4年度大学入学者選抜実施要項に関するQ&Aの更新」について、以下のように都道府県教育委員会並びに各大学等に通知しました。今回の更新は、保健所業務の逼迫を理由に濃厚接触者の認定後、行政検査が実施できない場合のタクシー等の利用の取扱いについてです。

【令和4年度大学入学者選抜実施要項に関するQ&A】

Q64-1 新型コロナウイルスの感染が急拡大する中、保健所業務の逼迫を理由に濃厚接触者の認定後、行政検査が実施できない自治体の受験生は受験できないのか。

A 行政検査の結果が得られないため、可能であれば抗原定性検査キットにより陰性確認を行った上で、発熱・咳等の症状がなければ、別室での受験が可能です。なお、当該キットが入手できない場合は、発熱・咳等の症状がないことを十分に確認した上で、別室での受験が可能です。ただし、当該取扱いは、あくまで保健所業務の逼迫により、行政検査の実施ができない場合に限るため、今後取扱いが変更となる可能性があります。

Q64-2 Q64-1の場合において、行政検査が実施できない自治体の受験生は無症状であれば受験できるとしたことに関連し、タクシー、ハイヤー、海上タクシーの利用の際の行政検査の取扱いについてはどうなるのか。

A 行政検査の結果が得られないため、抗原定性検査キットにより陰性確認を行い、保健所等の逼迫により行政検査が受けられないこと、無症状であることを告げた上で、予約を行い、他の乗客と乗り合わせずに利用して下さい。

「第57回学生生活実態調査の概要報告（速報）」について

全国大学生生活協同組合連合会は、全国の国公立および私立大学学部生10,813人を対象とした「第57回学生生活実態調査の概要報告（速報）」を発表しました。前回の調査は、コロナ禍での学生生活の変化や、その中での戸惑いや苦悩があらわれる結果となりましたが、今回の調査は、学生生活がその後、どのように変化したかを見ることができます。

■ 大学生生活充実度

① “充実している+まあ充実している”の推移

A	18年	19年	20年	21年
1年生	89.4	89.4	56.5	80.6
2年生	87.2	88.0	77.1	70.8
3年生	86.6	87.7	81.5	78.9
4年生以上	88.6	90.1	86.4	84.5
総計	88.0	88.8	74.2	78.6

※ 数値は%

B	18年	19年	20年	21年
1年生	80.6
2年生	56.5	70.8
3年生	...	89.4	71.1	78.9
4年生以上	89.4	88.0	81.5	84.5

② 大学生生活充実度・学年別 詳細 ※ 数値は%

	1 年 生			2 年 生			総 計		
	19年	20年	21年	19年	20年	21年			
充実している	38.4	13.6	28.3	34.3	22.0	21.2			
まあ充実している	51.0	42.9	52.3	53.7	55.1	49.6			
充実している合計	89.4	56.5	80.6	88.0	77.1	70.8			
あまり充実していない	8.7	30.2	15.9	9.7	18.3	22.7			
充実していない	2.0	13.3	3.5	2.3	4.6	6.5			
充実していない合計	10.7	43.5	19.4	12.0	22.9	29.2			
総 計	100	100	100	100	100	100			

	3 年 生			4 年生以上			総 計		
	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年
充実している	33.6	26.0	26.3	36.1	34.6	35.7	35.7	23.3	27.0
まあ充実している	54.1	55.5	52.6	54.0	51.8	53.1	53.1	50.9	51.6
充実している合計	87.7	81.5	78.9	90.1	86.4	88.8	88.8	74.2	78.6
あまり充実していない	10.4	15.1	17.1	7.7	10.9	9.1	9.1	19.4	17.1
充実していない	1.9	3.3	4.1	2.2	2.7	2.1	2.1	6.4	4.3
充実していない合計	12.3	18.4	21.2	9.9	13.6	11.2	11.2	25.8	21.4
総 計	100	100	100	100	100	100	100	100	100

〔特徴〕

- ・ 1年生の充実度は急回復したが、コロナ禍前の2019年以前の水準には戻っていない。
- ・ 2年生以上の充実度は2年連続減少。コロナ禍の長期化の影響が心配される。
- ・ 2年生の充実度が4学年の中で最も低い。

■ 1週間の登校日数

① 平均登校日数・学年別 (日) ※ 数値は%

	19年	20年	21年
1年生	5.0	2.0	3.2
2年生	4.7	1.8	2.9
3年生	4.2	2.0	2.6
4年生以上	3.5	2.2	2.4
総 計	4.4	2.0	2.8

② 1週間の登校日数と充実回答・学年別 ※ 1週間の登校日数を100とした場合

	1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年生以上			総 計		
	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年
0日	71.4	41.2	67.8	90.0	70.7	52.6	62.5	73.0	65.2	80.7	83.0	78.3	77.7	77.7	67.9
1日	100	47.5	62.7	57.1	73.8	58.5	78.8	79.7	70.5	92.4	85.2	82.8	91.2	70.7	71.8
2日	57.1	56.0	77.9	65.5	77.4	62.7	84.0	84.4	81.6	90.2	88.0	84.9	86.3	72.8	75.8
3日	80.7	67.5	80.4	87.2	85.8	71.7	86.9	84.9	83.1	89.7	90.1	85.2	87.4	79.2	79.2
4日	85.5	74.8	84.9	86.2	83.5	80.5	88.0	86.3	79.6	86.1	86.4	88.9	86.6	81.8	83.1
5日	89.7	76.2	88.4	89.0	85.0	83.0	87.9	90.4	88.8	91.1	90.2	89.4	89.4	86.0	87.2
6日	94.8	78.0	93.8	91.6	90.7	89.2	94.7	95.1	94.2	92.2	90.1	87.5	93.4	88.1	90.7
7日	92.4	75.0	90.6	86.2	100	89.2	95.1	100	89.7	89.4	88.4	93.5	90.6	91.5	9.3

〔特徴〕

- ・ 登校日数が多いほど、学生生活が充実していると回答する割合が高い。
- ・ 1年生と2年生で、週2日以下の登校日数だと充実度が特に低い傾向になっている。

終わりに

上記の調査結果から、コロナ禍の大学生活は決して充実したものとは言えないようです。その他、授業形態ごとの大学生生活充実度の結果も紹介されていましたが、オンライン授業が多いほど、充実していると回答する割合は低くなっています。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないだけに、学生たちの戸惑いや苦悩はなかなか解消される方向にはないようです。
(文責：進路指導部 池本 邦彦)